

## 株主メモ

事業年度	毎年4月21日から翌年4月20日まで
定時株主総会	毎年7月
基準日	定時株主総会・期末配当…毎年4月20日 中間配当……………毎年10月20日
株主名簿管理人 <sup>(※1)</sup>	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒541-0041 大阪市中央区北浜二丁目2番21号 中央三井信託銀行株式会社 大阪支店証券代行部
郵便物の送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-78-2031 (フリーダイヤル) 取次事務は、中央三井信託銀行株式会社の本店および 全国各支店ならびに日本証券代行株式会社の本店および 全国各支店で行っております。 <sup>(※2)</sup>

(お知らせ)

※1)当社の株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社は、関係当局の許認可を前提に、住友信託銀行株式会社、中央三井アセット信託銀行と平成24年4月1日をもって合併し、「三井住友信託銀行株式会社」となります。なお、平成24年4月1日(日)は、株主名簿管理人の休業日につき、実際のお取扱いは、平成24年4月2日(月)からとなります。

株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒541-0041 大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先・電話照会先	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 (住所、電話番号の変更はございません)

※2)日本証券代行株式会社による取次事務につきましては、平成24年3月末をもって終了させていただきます。

### ●住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

### ●未払配当金の支払について

株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

# DAISAN<sup>®</sup> Report

第38期中間のご報告書

CONTENTS

- 02 トップインタビュー
- 04 『社内検定ビケ足場施工』厚生労働省認定への歩み
- 06 四半期財務諸表

株式会社ダイサン  
証券コード:4750

## 認定社内検定制度「ビケ足場施工」 全現場の有資格者施工を目指し、新しい足場文化を創造します。

### Q 第2四半期累計期間決算についての 総括をお願いします

A 当第2四半期累計期間におけるわが国の経済は、本年3月の東日本大震災によるインフラの破壊、個人消費の後退、部品調達面での制約などにより一時失速したものの、その後の生産能力の回復や復興支援により持ち直し傾向にあります。欧州金融危機が世界的経済不安につながりかねず、輸出環境の悪化により先行き不安定な状況となっております。私どもに関連の深い住宅・建築業界におきましては、先の大震災による一時的な低迷から地域間格差はあるものの立ち直りの兆しを見せており、住宅エコポイントの駆込み需要やその他の住宅支援策も寄与し、住宅着工戸数が前年を上回る状態になりました。

こうした状況の中、当社は本年2月厚生労働省の認定を受けた『社内検定制度ビケ足場施工』を核としたサービス品質向上と住宅足場の手すり先行工法『ビケ足場BX工法®』の普及に努め、「安全」「安心」「感動」の施工サービスの提供に努める傍ら、事業のコスト構造の改善に取り組んでまいりました。また、製商品販売事業においては、住宅・建築業界の復旧需要に加え、グループ事業として施工品質改善の取り組みや市場創造努力などが奏功し、部材の販売が大きく伸張しました。その結果、当第2四半期累計期間の売上高は4,184百万円(前年同期比25.5%増)となり、収支面でも前年と比較すると大幅に改善が見られ、営業利益333百万円(同433.1%増)、経常利益341百万円

(同418.0%増)、四半期純利益は264百万円(同912.6%増)となりました。

### Q 今後の市場環境についてお聞かせください

A 住宅・建築市場全般と致しましては、震災後の一時失速から前述のとおり6月頃より持ち直し傾向にありましたが、下半期にはその需要も一服し、その後緩やかな上昇傾向で推移すると考えております。

そのような中で、震災復興需要とは別に持続的な成長市場と考えておりますのが、リフォーム・リモデル市場、および人口が集中致します首都圏市場と捉えております。さらに具体的に申しますと、これら市場においてはその品質の優位性より、大手ハウスメーカーがシェアを一段と拡大すると考えております。

一方、東北を中心とした震災復興需要についてはインフラ整備が先行してはりましたが、住宅・建築市場はこれから本格化致します。

### Q では、そのような環境の中での期末に向けての施策や そのポイントをお聞かせ下さい

A まず、震災復興における私どもの支援体制ですが、施工サービスにおいては事業所展開が首都圏以西であり、直接貢献できることは少ないと考えております。しかしながら、製商品販売事業におきましては、復興に伴う資材需要において、



## Top Interview

代表取締役社長  
三浦 基和

必要なときに、必要な場所に、必要なものを供給することで貢献できるよう、体制を整えてまいります。

施工サービスにおいては今後長期的に業績を拡大させるため、成長市場での影響力を高める大手ハウスメーカーを中心とした顧客の開拓、シェアアップを目指してまいります。

### Q 成長市場を牽引する大手ハウスメーカーとの 取引拡大のポイントをお聞かせ下さい

A 私どもでは、大手ハウスメーカーが重視する「安全」「安心」の現場を実現する工法として『ビケ足場BX工法®』

の全現場標準化を終え、評価を頂いております。また、『ビケ足場品質保証システム』の取り組みの一つでもある、厚生労働省が認定した『社内検定制度ビケ足場施工』において資格を取得したビケ足場施工士による、品質を重視した施工サービスを提供してまいります。これにつきましては、全現場有資格者施工となるよう、早急に社内での育成を進めております。

また、首都圏市場での成長発展のため、2011年12月に首都圏第5号店となる埼玉東サービスセンターを埼玉県草加市に開設致しました。

今後も事業拡大を継続し、適正な収益を確保してまいります。

トピックス

# 『社内検定ビケ足場施工』 厚生労働省認定への歩み

『社内検定ビケ足場施工』の有資格者は、  
業界をリードする知識・技能・考え方をもち、  
高度な足場計画図作成能力と足場施工技能により  
安定した品質の足場を施工します。

厚生労働省認定関連

2009 2月  
厚生労働省  
へ申請

2009 12月  
厚労省による  
認定実施審査

2010 5月  
申請書受理

2011 2月  
厚生労働省  
認定



職業能力開発局  
実地調査審査官による  
試行試験実地審査



11.10.20現在  
一級8名  
二級100名

ダイサンでは  
全現場  
有資格者施工を  
目指しています。

社内検定運営関連

2008 2月  
社内検定運営  
組織立ち上げ



学科試験、実技試験について  
基準策定、検定委員の研修  
を開始

2008 10月  
二級検定  
運営開始



近畿地区で第1回を開  
催し、順次全国へ実施  
地区を拡大

2009 9月  
一級検定  
運営開始



関東地区で開催した第9回から一級検定を開  
始。受検者には、二級の合格に加え、更に高度な  
施工技能、指導教育能力及び高度なコミュニケ  
ーション能力が求められる。

2011 11月  
認定祝賀会  
開催

2月の厚労省認定を受け、ハウスメーカー様中心に  
ご臨席を賜り、祝賀会を開催致しました。

来賓ご祝辞



大手ハウスメーカー様中心に9社  
14名ご臨席賜り、ご祝辞を頂戴  
いたしました。

ビケ会会長謝辞

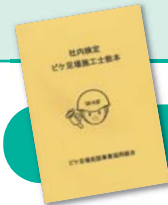


ビケ会会長三浦基和が謝辞を述  
べました。

一級ビケ足場施工士  
インタビュー



一級取得者へインタビュー形式  
で、施工サービス品質に対する思  
いをそれぞれ語って頂きました。



社内検定は、全国各地域にて41回開催済(11.10.20現在)

### 【厚生労働省認定社内検定制度とは】

事業主又は事業主団体等が、その雇用する労働者等の技能の向上と経済的社会的地位の向上に資することを目的に、労働者が有する職業に必要な知識及び技能  
について、その程度を自ら検定する事業(すなわち社内検定)のうち、一定の基準に適合し技能振興上奨励すべきものを厚生労働大臣が認定するものです。

※社内検定制度「ビケ足場施工」はビケ足場仮設事業協同組合により運営されています。

## 四半期財務諸表

### 四半期貸借対照表

(単位:千円)

科目	当第2四半期末 (平成23年10月20日現在)	前期末 (平成23年4月20日現在)
<b>資産の部</b>		
流動資産	4,588,256	4,112,087
固定資産	2,471,007	2,441,386
<b>資産合計</b>	<b>7,059,263</b>	<b>6,553,473</b>
<b>負債の部</b>		
流動負債	1,562,089	1,334,121
固定負債	669,321	614,741
<b>負債合計</b>	<b>2,231,410</b>	<b>1,948,863</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本	4,815,171	4,588,694
評価・換算差額等	12,680	15,915
<b>純資産合計</b>	<b>4,827,852</b>	<b>4,604,610</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>7,059,263</b>	<b>6,553,473</b>

### 四半期損益計算書

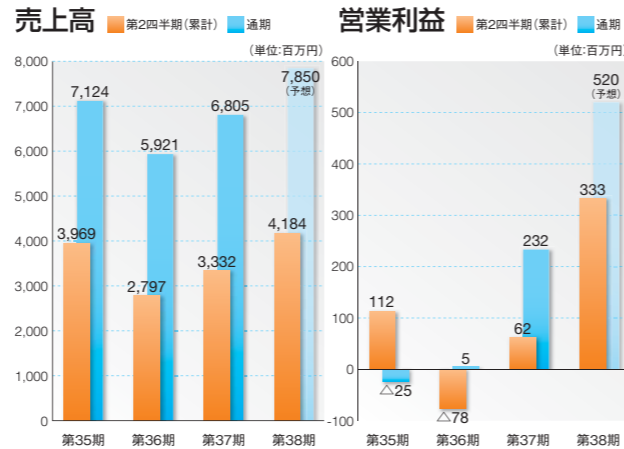
(単位:千円)

科目	当第2四半期(累計) 平成23年 4月21日から 平成23年10月20日まで	前第2四半期(累計) 平成22年 4月21日から 平成22年10月20日まで
売上高	4,184,156	3,332,760
売上原価	3,158,963	2,621,896
売上総利益	1,025,193	710,864
販売費及び一般管理費	692,056	648,373
営業利益	333,137	62,491
営業外損益	8,241	3,407
経常利益	341,378	65,898
特別損益	△1,653	△22,443
税引前四半期純利益	339,725	43,456
法人税等	75,418	17,354
四半期純利益	264,307	26,101

### 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

科目	当第2四半期(累計) 平成23年 4月21日から 平成23年10月20日まで	前第2四半期(累計) 平成22年 4月21日から 平成22年10月20日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	△68,285	196,930
投資活動によるキャッシュ・フロー	△82,155	△51,219
財務活動によるキャッシュ・フロー	△15,657	△230,069
現金及び現金同等物の増減額	△166,098	△84,358
現金及び現金同等物の 四半期末残高	1,294,301	1,352,929



#### 当冊子の表記につきまして

「四半期財務諸表に関する会計基準」及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」を適用しております。

本報告書は四半期決算短信の数値、文章を基に作成しております。その後公表される可能性がある訂正情報、業績予想の修正情報や決算の詳細につきましては金融庁EDINETや当社ホームページの掲載資料にてご確認ください。

※詳しくは四半期報告書をご覧ください。

## 会社情報 / 株式情報

### 会社概要

(2011年10月20日現在)

商号: 株式会社ダイサン DAISAN CO., LTD.  
 設立: 昭和50(1975)年4月1日  
 本社: 大阪市中央区南本町2-6-12 サンマリオンNBFタワー3階  
 資本金: 566,760,000円  
 従業員数: 445名

### 役員構成

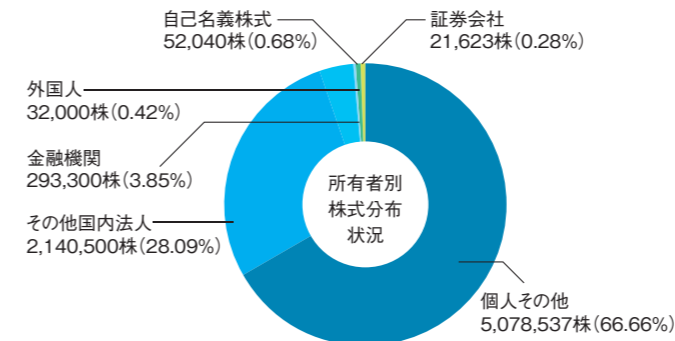
(2011年10月20日現在)

代表取締役社長: 三浦 基和  
 専務取締役: 金山 修二  
 取締役: 上村 信太郎  
 取締役: 藤田 武敏  
 取締役: 岡光 正範  
 常勤監査役: 森 義明  
 監査役: 斐 薫  
 監査役: 石 光仁

### 株式情報

(2011年10月20日現在)

発行可能株式総数: 26,000,000株  
 発行済株式総数: 7,618,000株(自己株式を含む)  
 株主数: 854名



### 事業所所在地

(2011年10月20日現在)



#### 大株主の状況

(2011年10月20日現在)

所有者	株数	保有比率
三浦 基和	1,248,000	16.49%
エスアールジータカミヤ株式会社	1,061,000	14.02%
ダイサン取引先持株会	620,500	8.20%
有限会社和顔	424,000	5.60%
大原 春子	343,200	4.54%
ダイサン従業員持株会	326,660	4.32%
金沢 昭枝	275,200	3.64%
三浦 民子	271,000	3.58%
大阪中小企業投資育成株式会社	200,000	2.64%
三浦 宣子	128,000	1.69%

(注) 持株比率は自己株式(52,040株)を控除して計算しております。